

神奈川県平塚市の大樹さん

特別住民番号1672

ぼくの名前は大きな樹のように、元気でのびのびとまっすぐに育ってほしいとお父さんがつけてくれました。

ぼくの家族は北海道が大好きで、よく旅行に行きます。大樹町には2回行って、「自分のまちだあ」と思ってうれしくなり、大樹町役場や大樹郵便局、大樹バス停でも写真をとりました。また行きたいです。

ぼくは今10才です。ゆめはマンガ家になる事です。4コママンガがとくいです。有名になったら、ぼくのマンガを見てください。



大樹町にて

弟の勇知と一緒に。

大樹はやさしくて、おもしろい事が大好きな男の子です。

少しのんびりとしていますが、これからも、色々な事を経験し、大きく成長して欲しいです。父母

三重県津市の大樹さん

特別住民番号1673

僕は、今、6才。保育園の年長組。

僕が4才のときに、家族で北海道へ行ったんだよ。そしたら、僕の名前と同じ町があって、びっくりした。そのとき、お父さんが教えてくれたんだ。お父さんとお母さんは、男の子が生まれたら、大樹町と同じ「大樹」という名前をつけるつもりだったんだって。ときどき、「ダイキ」とも呼ばれるけど、僕は、大樹町と同じ「タイキ」なんだ。

なぜ、大樹町の字をもらったかも教えてくれたよ。それはね……。

お父さんもお母さんも、北海道が大好きで、何回も旅行してたんだって。森や畑をぬけて、久しぶりに出会ったお店で「お水をください」ってお願いしたら、店のおじさんがとてもやさしくて、親切にしてもらったんだって。そこが、大樹町だったんだ。今でも、そのおじいさんとはおつきあいがあって、僕が北海道に行ったとき、初めて会ったんだ。

お父さん、お母さんの新婚旅行も二人の好きな北海道へ行ったけど、その記念にと、おじいさんに立会いをお願いして、大樹町役場に婚姻届を出したんだって。だから、お父さん達の戸籍には、広尾郡大樹町って書いてあるんだよ。

二人の出発点だからって、大切な場所だから、僕にその名前をつけたってわけ。北海道のような広い心と大樹「タイジュ」のような強い心、そして大樹町のような美しい自然を愛する心を持った子になるようにとの願いも込められているんだって。

僕は、今、走るのが大好き。どこへでも走って行ってしまおうので、お父さんによく怒られるけど、こうも言ってくれるんだ。

「大樹は、元気」ってね。



北海道江別市の大樹さん

特別住民番号1694

義平大樹 1965年3月29日生まれ

私は、現在、江別市に住む34才二児の父親です。両親に大樹という名前をつけた理由を聞いたところ、第一に赤ちゃんの頃は体が大きかった(3,400g)こと、第二に「大きな視野をもつ人間になってほしい」と特に父親が希望



していたからだとの事です。しかし、体が大きかったのは赤ちゃんの時だけで、幼稚園以降高校に至るまで身長はクラスの中で最も低く(現在158cm)、常に体育の授業や朝礼の時は一番前に並ばされました。

高校生の時までは、「大きな名前に小さな体」という負い目を背負い、大樹という名前についてマイナスの評価しかしていませんでした。今でも悔しい瞬間が鮮明によみがえるのは、高校の時、口の悪い体育の先生が、「お前は大きな名前を持つけど、頼りないから大樹じゃなくて盆栽とちゃうか！(関西弁)」とクラスメイトの前で言われたことです。そのことを自分の中では抑えきれず、父に話すと、父は激怒していました。

しかし、現在は大樹という名前に非常に満足し、父に感謝しています。酪農学園大学で講師をしていますが、学生に対する自己紹介では、「大樹という大きな名前をつけてもらったために、体は名前に吸収されて小さくなってしまいました」とジョークをとばすと、結構うけるので我ながらびっくりしています。また、英会話教室にも通っているのですが、外人の先生からは“Big Tree”という愛称で呼ばれています。

息子が生まれて今度は自分が命名する際にも、大樹の樹にこだわって、長男は悠樹、次男は将樹と名付けました。しかし、その二人の息子がどちらも障害を持って生まれてきました。結果として息子にも、「大きな名前にハンディキャップ」という重荷を背負わせてしまうことになったのも何かの縁であると感じています。将来、彼らの可能性の範囲内で、名前のように世の中の大きな部分をみて、社会へ自立してほしいと願っています。

自分に架せられた名前「大樹」のように、生き方としてスケールの大きい人間になってやるという気持ちを心の一角にたたためつつ、能力のない者ながら、二人の自閉症児を持つ父親として、研究者としてベストを尽くしていくつもりです。

北海道帯広市の大樹さん

特別住民番号1696

私たち夫婦に子どもが授かり、予定日は5月。これからゆっくりと産まれてくる赤ちゃんの物をそろえていこうとしていた3月。妻に急に陣痛がきて緊急入院。それから一週間もしないうちに大きな病院。そして2日後に帝王切開で出産。

予定日よりも2ヶ月も早く、1,614グラムの未熟児でした。

保育器に入れられた赤ちゃんは、男の子。手の平ぐらいしかなくなんとも小さな体でした。

さて、いよいよ「大樹」ですが、

- 1.体が小さかったから、大きく育ててほしい。
- 2.大木にいろいろな生き物が集まってくるように、たくさんの仲間が集まってくるように。
- 3.地面にがっしりと根を張る大木のようにどんと構えた、何事も動じることのない人間になってほしい。ということから、この字を選びました。

「大樹」の読み方は、

- 1.たいき(大樹町が十勝にありなじみがあるから)
- 2.だいき(世間では“だ”と濁る方が多いらしいと本に書いてあったから。)
- 3.ひろき(弟が“大史”と書いて「ひろふみ」というので。)

結局、根っからの北海道人、根っからの十勝っ子のぼくと、関西出身の妻(義父が北海道十勝に出生していた。妻が就職で十勝を選んだことなど)十勝に縁を感じて、ということで「たいき」と名付けました。(父)



新潟県羽茂町の大樹さん

特別住民番号1702

夕焼けの空び秋の日に
初めて生まれた男の子
この子を「大樹」と名付けました



大地にどっしり根をはって
空に向って伸びる大きな樹
両手いっぱい広げて
心安らぐ木陰をつくる
君のまわりに友達たくさん
すてきな今日があるように
～
大樹は十二になりました

樹のある風景が好きなのは
空と風が似合うから
やさしい気持ちになれるから

6年たった秋の日に
やっと生まれた女の子
この子を「美樹」と名付けました
やさしい風を受けとめて
木漏れ日の中
きらきら光る美しい樹
鳥や花や 虹や歌
君の瞳ぶすてきなものたくさん
たのしい明日があるように
～

美樹は六つになりました
また6年たった5月の日
大きく生まれた男の子
この子を「元樹」と名付けました
君の名前を呼ぶだけで
元気な気持ちになってくる
君のまわりに笑顔がたくさん
明るい未来があるように
～
元気はにっこり笑ってます

樹のある風景が好きなのは
緑の地球が好きだから
まだまだ小さな三つの樹
すくすく伸びて大きくなって
やさしい風景をつくっておくれ

北海道旭川市の大樹さん

特別住民番号1716

私の父が、北大時代に親友の現在、道庁に勤務しておられる、大樹町出身の柳平富幸氏に男の子が産まれたら、大樹と名付けると約束したそうです。父は今でもヤナさんヤナさんと言っています。現在、水産林部治山課に勤務ということです。兄の長男は中（アタル）二男は泰成（タイセイ）そして僕は、大樹（ヒロキ）ということで、長男を中心に泰らかん大きく育つようにとの願いを込めて命名したと聞いています。今は大樹という名前は多いと思いますが、当時の昭和49年にはそんなには多くなかったのではないかと思います。僕自身、折平さんにはずっと以前に一度会った切りでよく顔は覚えていません。そして一度もまだ大樹町に行ったこともありません。父も同様です。是非一度、旭川からは遠いですが、訪問したいと考えています。父がこの前、折平さんに電話して募集して



いたよという話しをしていました。そしたら間違いのないよと記憶していますが大樹町の町長さんが道庁に来庁して折平さんと会ったということをお父さんが話していました。お父さんは恵迪寮には入寮してはいませんでしたが、寮に遊びに行ったり、恵迪寮の住人とよく間違われたと聞いています。僕の名前にお父さんと友人との間の話で命名したことを今では少し誇りに思っています。

まさか友人の出身地そのものを名前に付けるとは父親も勝手とは思いましたが、今は何もイヤな感じはしません。父親は52歳で10月には53歳になりますが、聞くところによりますと学生時代からあまり成長していないので昔のままの性格のようです。以上で僕の名前の由来を書き綴ってきましたが、まさか町そのもので名前の由来企画を催されているとは夢にも思いませんでした。以上です。

茨城県ひたちなか市の大樹さん

特別住民番号1723

開町70周年おめでとうございます。

我が家の「大樹」を紹介します。

平成4年7月22日生まれの長男です。

一人目の子供ということもあり、名付けには時間をかけました。「ヒロキ」という呼び名は決まっていたのですが、それにあてはめる漢字に少々悩みました。そんな時「寄らば大樹の陰」という言葉を知り、ビビビーツとききました。

これは（「大樹」はそこに存在するだけで自然と人が集まってくるのだ）という意味です。

人間は決して一人では生きてゆけません。家族がいて友がいてはげましあって助けあって生きてゆくものです。

私達はこの「大樹」のように、人から愛され常に人が集まってくる…そんな人になってもらいたいと「ヒロキ＝大樹」と命名しました。

現在大樹は6才になり、保育園に通っています。名前の由来の通り誰とでもすぐ友達になれる。明るくて、元気な子供に育ってくれました。

これからの人生も、色々な人との出会いわかれがあると思いますが、常によい友にめぐり会い、素晴らしい世界を広げて行ってほしいと願っています。（父母）



北海道函館市の大樹さん

特別住民番号1729

「大樹」にまつわるエトセトラ

今回「大樹」という名前を持つ人間の一人として、自分の名前の由来や、それにまつわるエピソードについて書きたいと思います。

ぼくは地元函館で生まれたのですが、出生の際両親や祖父母のみんなが集まって命名について相談し、その結果この名前が命名されたと母親から聞きました。話によると、何でも祖父が「樹」という字が好きだとゆうので、初めに「大樹」という名前を提案したのですが、一方で母親がもう一つ「一樹」という名前を提案したのですが、父が「たいき」という呼び名があまり気に入らなかったので「た」に濁点をつけ、新たに「だいき」と提案して決まり、その名前で命名されました。しかし、祖父だけは「たいき」という呼び名が好きらしく、いつも「たいき、たいき」と言っていたのを記憶しています。

今名前について呼び名が祖父だけ異なると述べていましたが、それは祖父のみならず学校でもあり、今の学校では普通に呼ばれていますが、小学校の時ずっと「だいいじゅ」と呼ばれていました。その「だいいじゅ」という呼び名が長かったせいか、いつの間にかそれに愛着を感じている自分がいたりして、一時期家では「だいき」、学校では「だいいじゅ」という二人の人間が自分の中に存在しているような錯覚に陥ったりしました。今ではもう本名でしか呼ばれませんが、その当時の同級生は今でも「だいいじゅ」と呼び、その都度懐かしさのあまり嬉しくなったりします。

最後にこの度の機会を通じ、親達が「大樹」という名前に込めた意味というものを再



確認できたと思います。正直言って今の所、心技体共に名前負けしている有様ですが、将来をつかむ為にも大きく頑張っていきたいと思いました。

宮城県仙台市の大樹さん

特別住民番号1731

大樹町の皆様お元気でしょうか。わが家の大樹が生まれてもうすぐ一年と半年になろうとしています。今回このエピソード集のお知らせを見た時とても素晴らしいきかくだと思いました。うちの息子が大きくなったら是非みせてやりたいと思いつつこのエピソードを書いています。



さて、名前の由来についてですが、いろいろな思いでつけた名前です。生まれる半年前位に妻が「病院で生まれてくる子の性別聞いてきたよ」というのです。生まれてくるまで知りたくはなかったのですが、生まれてからは服とかを買ったりするのも大変だと思い妻に聞きました。結果は女の子でした。それからというもの二人で女の子の名前ばかり考えて過ごしました。月日が流れて出産の時が来ました。生まれた子はなんと男の子だったのです。とてもびっくりしたのと同時に感動しました。生まれた年月日は、平成10年4月19日7時21分です。体重2,776グラム。ちょっと小さめで猿みたいな男の子でした。最初は自分で前から決めていた「圭太」という名前を付けようと思いましたが初めての子供なのでいろいろ考えて字を入れてほしいと言われていたので、樹をもとに考えました。そして考えた名前が三つでした。「樹」「利樹」「大樹」この中で選ぶことにしました。生まれてきた時、ちょっと小さめだったことを思いだし、たくましく大きい樹のようにめきめき育ててほしいと願い「大樹」と命名しました。今現在大樹はこの名前の通りにたくましく育っています。

このエピソード集が出来たら、30年後に息子にみせてやろうと思います。ダメオヤジより

茨城県江戸崎町の大樹さん

特別住民番号1735

僕は「ひろき」って読むんだ。5才だよ。そして、弟は「たけひろ」雄大って書くんだ。パパはふたりとも大宮市(埼玉県)で生まれたから“大”っていう字を使っているんだよって笑っていいけれど、本当は北海道のイメージなんだって。パパもママもここが日本？って思いたくなる程広い大きな北海道が大好きだって。



僕がね、ママのおなかで寝ている時、ママは身体の具合が悪くって大変だったんだってサ。でも僕はママのおなかの形が変わる位、元気に動いて運動していたんだ。けどもう忘れたヨ。

そんな僕の名前、パパとママはふたりが大ファンのCHAGE & ASKAの曲の中から思いついたんだって。タイトルは“BIG TREE”大きな樹だね。

♪大きな海と 大きな空と 大きな旗と 君だけのBIG TREE

動かない景色のような 誰かがくれた生命のBIG TREE

君は見たか ひとつの鼓動分け合いながら 心にふちどられている

君だけのBIG TREE♪

僕サ、曲の意味なんかよくわかんないヨ。でも素敵な話かもね。きっとパパもママも僕が生まれるのとても楽しみにして、やさしく、大きく、素直に育て！と願って、“大樹”ってつけてくれたんだもの。

僕は今年から幼稚園に通っているんだ。クラスの違う先生がよく「タイキ君」って呼ぶの、ママにいうといつも笑ってるよ。「先生にひろきだよ。って教えてあげたら…」なんてね。いいんだ。

僕、今遊ぶのにとっても忙しいからサ。

今度、家族で大樹町に行ってみたいんだ。

うん。きっと行くからね。

楽しみにしているよ。じゃあね。

(代筆 大樹のパパとママ)